

シラバス

指定番号：285

商号又は名称：一般社団法人日中人材育成協会

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	○介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。 ○介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援をとらえることができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	1.0	0.5	<p>【目標・講義内容・学習課題の概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴 ・介護の専門性 ・介護にかかわる職種 <p>【学習のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴（施設と在宅との違い、地域包括ケアの方向性など）を学ぶ。 ・介護の専門性について考え、専門職に求められるものが何かを学ぶ。 ・多職種連携の目的を学び、利用者を支援するさまざまな専門職について理解する。 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワークにて「何故、多職種連携が必要か？」を考え意見を出し解説に繋げ理解を深める。 <p>【通信課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストを調べ「介護の専門性」についてまとめる。等 ・関連正誤問題と穴埋め問題。等
② 介護職の職業倫理	1.5	1.0	0.5	<p>【目標・講義内容・学習課題の概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職の倫理の意義 ・介護福祉士の倫理 <p>【学習のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職がもつべき職業倫理を学ぶ。 ・日本介護福祉士会倫理綱領を参考に介護職にかかわる倫理綱領を理解する。 <p>【演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワークにて「職業倫理」の必要を考え意見を出し解説に繋げ理解を深める。等。 <p>【通信課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理要領の「めざすべき専門性と職業倫理」を5つ記載等のテキストを基に調べ記載する。等 ・関連正誤問題と穴埋め問題。等
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	0.5	1.0	<p>【目標・講義内容・学習課題の概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・感染対策 <p>【学習のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点を学ぶ。等。 ・利用者を取り巻く介護チームで安全な生活を守るしくみについて学ぶ。 <p>【通信課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストを調べ「感染経路を遮断するポイント」を挙げる。等 ・関連正誤問題と穴埋め問題。等
④ 介護職の安全	1.5	0.5	1.0	<p>【目標・講義内容・学習課題の概要等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の心身の健康管理

				<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防 【学習のポイント】 ・介護の特徴をふまえて、介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ。 ・介護職に起こりやすいところとからだの病気や障害について学ぶ。 ・介護職自身の健康管理の方法（病気や障害の予防と対策）について学ぶ。 【通信課題】 ・テキストを調べ腰痛を起こす理由と腰痛の予防策をまとめる。等 ・関連正誤問題と穴埋め問題。等
(合計時間数)	6.0	3.0	3.0	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。